

活動報告

阪南大学ゼミ生報告会

PAREは阪南大学キャリアゼミの取り組みで経営学部片渕教授のゼミと、連携団体として活動を共にしました。

1月10日（金）基礎演習の最終成果の報告のためにゼミ生6名が訪問してくれました。「地球温暖化はどうすれば止められるかーその現状と問題点、自然エネルギー発電所の実態調査から考えるー」というテーマでの報告を受け、交流を行いました。太陽光・風力・小水力発電についての要点がまとめられた発表でした。



学生からは「地球温暖化が及ぼす影響や、地球環境の危機について知らない言葉や知らない事ばかりだったけれど、このゼミを通して色々な知識が増えて、これから地球環境はどうなるのか、私たちがどうしていくべきか、などを知ることができました。とてもいい勉強になったと思います。来年も頑張りたいです」との感想がありました。

次年度も連携団体として活動する予定にしています。



ポッポ第2保育園餅つき会

1月12日（日）にポッポおひさま発電所を設置しているポッポ第2保育園で保護者会主催の餅つき会が開催されました。

園庭で、蒸籠で蒸したもち米を大人たちが手早くつき始めます。ある程度お餅がつけてくると園児と交代して、「ぺったんぺったん」とお餅をつく体験をします。最近ではあまり経験ができない杵と臼を使ってお餅をつくことで、お餅が何からできているのか、どのように作られていくのか知ることができます。

頑張って作業をしたあと、園児とその家族がつきたてのお餅をおいしそうに食べていました。



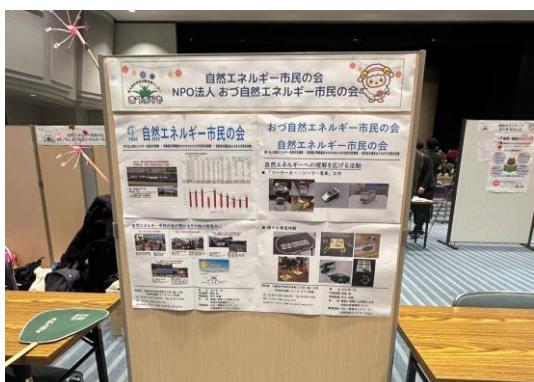
PAREは、オナモミを使ったエコダーツとわなげを準備して参加しました。お餅ができるまでの待ち時間、多くの園児が遊んでくれました。景品の風車がほしくて、もらえるまで10回以上並んでチャレンジした子どももいました。またオナモミを懐かしく思った保護者の方が子どもと一緒に投げあって遊んでいました。



第8回おづぶらざフェスタ

2月24日（月・祝）に第8回おづぶらざフェスタが、テクスピア大阪で開催されました。泉大津市で活動する市民団体が日頃の活動を発表・交流する場で、約30団体が出展・展示・発表を行い、約800人の来場がありました。

PAREは、おづ自然エネルギー市民の会とともに風車工作や発電体験、活動報告の展示をしました。風車工作は好評で、会場内は風車を持っている子をたくさん見かけました。また活動報告で展示していた夏休みの親子環境工作教室（ソーラーカー工作）の取り組みには、「知っていたら参加したかった」との意見もいただきました。

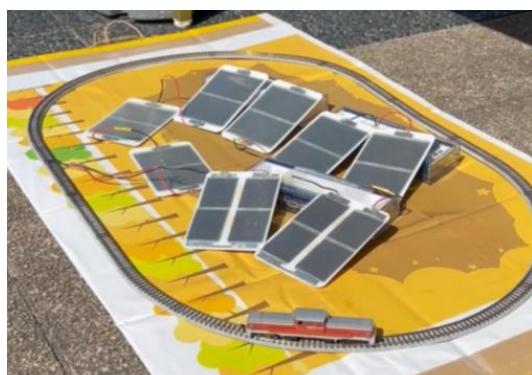


Happy Earth Day OSAKA 2025（表紙の続き）

このイベントは、地球上で起きている様々な問題について勉強し、自身の環境への想いや対策を考え共有しながら、みんなで希望の地球を繋げることで、環境や社会問題に関心を持っていけるような場をつくることを目指しています。

こうした開催趣旨から、PAREは、私たちが関係する5つの市民共同発電所の紹介をはじめ、エネルギー問題に関する展示、親子環境（工作）教室の取り組み紹介、発電体験を行いました。

当日は天候にも恵まれ、太陽光発電で走る電車が終日走ってくれました。電車が走っていることに気づいた子どもがブースに向かって走ってきます。パネルが影てしまうと電車が止まってしまいました。なぜ止まったのかわからなくて困惑しているところに、パネルに日が当たるように移動するように促すと、また電車が走りだし興味津々でした。



また、ソーラーカーを見てもらい、廃材を使用していることや、できるだけプラスチックを使わないコンセプトに共感していただきました。

こうした様子を見ていた出店団体の方が、ソーラーカー工作に興味を持ってくださり、企画を検討していただくことになりました。

今回、来場者やボランティアに参加している学生、環境に配慮している出店者の方などと多くの対話ができました。引き続き、私たちの活動の広がりに繋げていきたいと思います。

（PAREスタッフ 島田和幸）